

事務事業名		建築管理事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	建設水道部
総合計画体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり	課・室	都市計画課
	政策	06	身近な生活基盤の充実	係	建築住宅係
	施策	04	良好な住環境の整備	内線電話	273,358
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	8款	土木費	未計上	
	項	4項	都市計画費	実施期間	
	目	5目	建築景観費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市有施設利用者	意図（どのような状態にしたいのか）	市有施設の品質を確保することにより、施設利用者の利便性の向上を図る。
	現状・課題	慣例的に執行を認めず、職員により実施している場合が多い。		
市が行う理由及びその根拠	その他	公共施設等の品質を確保するため。		
事務事業概要	市有施設利用者の利便性の向上を図るため、必要により建築工事等に伴う設計監理業務の外部委託を行う。			
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量	
	建築工事に伴う設計監理業務委託の発注・監理		適時発注	

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	R2は予算額	予算額	当初予算	円	1,947,000	841,000
補正・流用等			円			—
合計			円	1,947,000	841,000	911,000
	決算（見込）額 A		円	131,187	73,362	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円			
	一般財源		円	131,187	73,362	911,000
	正規職員数		人	0.87	1.07	1.07
	人件費 B		円	5,597,580	6,892,940	6,892,940
	総事業費 A+B		円	5,728,767	6,966,302	7,803,940
	市民1人当たりコスト		円	134	164	184

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
市有施設利用者からの苦情件数		0件	目標	0	件	0	件	0	件
			成果	0	件	0	件	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	市有施設利用者からの苦情がないことで、施設の品質確保が図られたこととなるため。								

令和2年度の実施方針	効率的に実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	施設の品質管理を図るため、例年どおり実施する。						

